

社会資本総合整備計画
都市再生整備計画 事後評価シート
白井北部地区

平成28年3月

千葉県白井市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	千葉県		市町村名	白井市		地区名	白井北部地区		面積	985ha				
交付期間	平成22年度～26年度		事後評価実施時期	平成27年度		交付対象事業費	458.4百万円	国費率	0.4					
1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	【道路】市道00-001号線、市道00-003号線、市道00-004号線、市道00-102号線の整備 【地域生活基盤施設】地域防災施設(防災備蓄倉庫)の整備 【高次都市施設】地域交流センター(白井コミュニティセンター)整備											
		提案事業	【地域創造支援事業】白井児童館改築、防犯灯設置事業、中央公民館等解体撤去 【まちづくり活動推進事業】市民活動推進事業											
	当初計画から削除した事業	基幹事業	なし	事業名		削除/追加の理由		削除/追加による目標、指標、数値目標への影響						
	新たに追加した事業	基幹事業	なし											
	交付期間の変更	当初	平成22年度～平成26年度	交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響		なし								
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標	単位	従前値	目標値	数値	目標	1年以内の	効果発現要因		フォローアップ				
			基準年度	目標年度	モニタリング	評価値	達成度	達成見込み	(総合所見)	予定時期				
	指標1	公共施設に対する市民満足度	%	8.7	H19	15.0	H26	-	計測不能	-	あり	-	市内の公共施設すべての利便性に対する満足度をはかるものであり、事業効果や目標の達成状況を適切に説明する指標ではないため、計測不能とした。	-
	指標2	施設の利用促進を図るための講座数	講座	26	H20	31	H26	-	108	○	あり	-	白井コミュニティセンターの施設が充実し活動の幅が広がり、講座数が増加した。趣味的な講座以外にも地域を巻き込んだイベントなどが行われ、参加団体の練習場所となったり、イベントをきっかけに活動が市内に広がるなど、地域や世代間の交流が促進されている。	-
	指標3	利用登録(社会教育認定団体)団体数	団体	119	H20	130	H26	-	114	×	あり	●	登録認定の厳密化もあり目標は達成しなかったが、陶芸や着付け、カメラなど講座の参加をきっかけに独自のサークル活動が始まるなど、地域住民主体によるコミュニティの形成が進んでいる。	-
指標4	舗装修繕要案件数	件	65	H20	55	H26	-	60	×	あり	●	件数は減少したものの目標は達成しなかった。しかし、住民要望の強かった道路の舗装修繕を進めたことで、通行時の安全性が向上している。	-	
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標	単位	従前値	目標値	数値	目標	1年以内の	効果発現要因		フォローアップ				
			基準年度	目標年度	モニタリング	評価値	達成度	達成見込み	(総合所見)	予定時期				
	その他の数値指標1	白井コミュニティセンター利用者数	人/年	8,856	H20	-	-	36,006	-	-	-	住民意見を取り入れ、会議室以外にも施設各所にフリースペースを設けるなど、利用勝手の良い施設としたことで、研修や会議以外にもちょっとした集まりや気軽な交流の場となり、利用者が増えている。	-	
	その他の数値指標2	白井児童館の利用者数	人/年	5,397	H21	-	-	12,010	-	-	-	耐震化を行うとともに館内を明るく開放感のある施設に改築した。また、住民意見を反映し授乳室や低い手洗いなどを設置し、利用規定を柔軟化して講座等の充実を図った結果、利用者が増え、子供が安心・安全に楽しく遊べる場所が創出された。	-	
	その他の数値指標3	道路利用の安全・安心に対する満足度	%	-	-	-	-	58.5	-	-	-	道路事業において舗装や路面標示の修繕を行ったこと、防犯灯の増設により夜間通行時の安全性が高まり、道路の安全性・快適性が向上し、住民からの一定の評価を得ている。	-	
その他の数値指標4	地域の防災対策に対する満足度	%	-	-	-	-	74.7	-	-	-	避難所となる施設の耐震改修や白井コミュニティセンターへの防災備蓄庫の整備により、地域の防災機能が強化され災害に強いまちづくりが進んだことで、災害対策に対する住民満足度が向上した。	-		
4)定性的な効果発現状況	<p>・地区を対象としたアンケートでは、白井児童館について「子供が楽しく遊んでいる」「子ども間だけでなく、若い母親や付添いの祖母など世代間のコミュニケーションがとれ、友達が増えて良かった」等の声が上がっている。</p> <p>・まちづくり審議会において、「白井コミュニティセンターは、住民参加により施設整備に最初から関わったからこそ、要望等が通り、意見が受け入れられて自分たちが利用しやすい施設ができた。そしてその人たちが指定管理者を立ち上げて自分たちで施設を管理しているからこそ、面白い講座が開けたり、いろんなところとコラボしてイベントを開くなど積極的に活動されているところが特徴であると思う。造るところから運営・管理まで市民参加でやっているというのは評価できる」との意見が上がっている。</p>													
5)実施過程の評価	実施内容		実施状況				今後の対応方針等							
	モニタリング	都市計画課が定期的に事業の進捗状況を取りまとめ、計画通り事業が進んでいるか、課題解決に対する取り組みを行っているか等を確認した。	都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				● 定期的に庁内で事業の進捗状況を確認しあうことで、地区の問題等を共有し、計画的な事業推進を図る。							
	住民参加プロセス	①建設準備委員会による「コミュニティ施設建設整備に係る提案」に基づき、白井コミュニティセンターを整備した。開館後は、利用者の意見を取り入れながら施設の運営を行っている。 ②道路事業は、住民要望を勘案し修繕計画に反映させながら事業を実施した。	都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				①今後も地域や市民の意見を取り入れた公営施設の整備・改修を行っていくとともに、その運営についても、利用者に意見を伺いながら利用しやすい環境づくりを進める。 ②引き続き住民要望を反映した道路管理を行い、地域間交通の安全を確保する。							
	持続的なまちづくり体制の構築	-	都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった											

様式2-2 地区の概要

白井北部地区(千葉県県白井市) 都市再生整備計画事業の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標		従前値		目標値		評価値	
	指標	単位	従前値	目標値	従前値	目標値	評価値	評価値
人々が集い、安全で安心して暮らせるまちづくり 目標1 コミュニティーの形成 目標2 安全・安心の確保	公共施設に対する市民満足度	単位: %	8.7	H19	15.0	H26	計測不能	-
	施設の利用促進を図るための講座数	単位: 講座	26	H20	31	H26	108	H26
	利用登録(社会教育認定団体)団体数	単位: 団体	119	H20	130	H26	114	H26
	舗装修繕要望件数	単位: 件	65	H20	55	H26	60	H26
	白井コミュニティセンター利用者数	単位: 人/年	8,856	H20	-	-	36,006	H26
	白井児童館の利用者数	単位: 人/年	5,397	H21	-	-	12,010	H26
	道路利用の安全・安心に対する満足度	単位: %	-	-	-	-	58.5	H27
	地域の防災対策に対する満足度	単位: %	-	-	-	-	74.7	H27

①⑥老朽化した中央公民館を解体し、新たに白井コミュニティセンターを整備しました

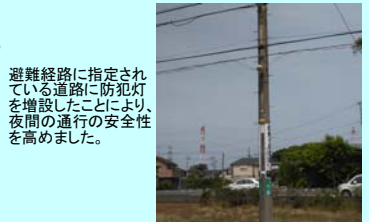


施設の建設にあたっては、地域住民や利用者の方々の意見を取り入れながら計画を進め、平成23年6月にオープンしました。市内在住・在勤の方であればどなたでも利用可能であり、コミュニティ活動の場や趣味・生きがいづくり活動の場としてご利用いただいています。

②市民活動の支援を行い、地域活動を活性化させました



市民による地域活動や立ち上げの支援を行いました。



③避難経路となる道路に防犯灯を整備し、夜間の通行に配慮しました

④道路舗装の修繕を行い、車も人も安全に通行できるよう配慮しました



⑤白井コミュニティセンターに防災備蓄庫を整備しました



⑥避難施設(白井中体育館等)の耐震化を進めました



⑦子どもたちが安全に遊べる場所として、白井児童館を改築しました

白井工業団地の周辺道路など、破損が著しかった道路舗装を修繕しました。また、うすくなっていたカラー舗装や学童注意の路面標示を引き直すなど、道路利用者に注意を喚起し安全性を向上しました。

避難所となっている施設は耐震化を進め、白井コミュニティセンターには防災備蓄庫を整備するなど、地域の防災力を高めました。

老朽化していた白井児童館は、耐震化を行うとともに施設のレイアウトを見直し、子どもが転ばないように段差をなくしたり、子ども用の低い手洗いを設置するなど、明るく安全性

- <凡例>
- 白井北部地区(都市再生整備計画事業区域)
 - 道路修繕箇所
 - 防犯灯設置箇所
 - 白井中体育館耐震改修
 - 白井児童館
 - 白井コミュニティセンター(避難所)
 - 小中学校等(避難所)
 - 白井市役所



まちの課題の変化

- ・白井コミュニティセンターの整備により地域活動の活性化が図られ、コミュニティの形成が促進された。その反面、施設利用者が増加したことで、駐車場不足などの課題がでてきた。
- ・道路の舗装修繕や路面標示の引き直しを実施した箇所においては、道路が円滑に、安全に通行できるようになった。また、防犯灯の増設により夜間通行の安全性が向上した。しかし、舗装修繕や草刈りなど道路管理に対する要望は依然として多く、整備路線以外にも夜間の通行に不安がある道路がある。
- ・地域の避難場所である白井コミュニティセンターを耐震施設とし、防災備蓄庫を整備したことで、災害時の安心感が増した。また、白井中学校体育館の耐震改修などにより、地域の防災力が向上した。しかし、災害時のトイレの設置場所など、防災機能の向上に務める必要がある。
- ・老朽化した白井児童館を耐震化し、高低差のないフロアや子供用の低い手洗いなどを整備したことで、子供が安全に過ごせる環境が整った。しかし、通学路や生活道路の中には交通量が多く暗いなど子供が安心して通行できない箇所がある。
- ・住民要望の強い路線や箇所の舗装修繕等を進めたが、それ以外の路線・箇所にも歩道整備等に関する要望や意見が多く寄せられている。

今後のまちづくりの方策(改善策を含む)

- ・地域コミュニティの醸成を図るため、施設や講座の周知活動等により施設の新規利用者やリピーターの増加を図る。また、安心して利用いただける施設として引き続き適正な施設管理を行うとともに、利用しやすい施設となるよう、駐車場の確保等を検討する。このほか、これからも地域活動の立ち上げや活動の支援を行っていく。
- ・安全で快適な道路環境を創出するため、舗装修繕や草刈りなど適切な維持管理に務める。また、防犯灯整備や狭隘道路の拡幅、歩道整備などにより、「暗い」「狭い」といった問題の解消を図る。
- ・災害時の迅速・的確な行動により地域の防災力をさらに向上させるため、避難訓練等の実施や防災教育の推進など、災害対応能力の向上を図る。また、不足している防災機能(災害時のトイレ問題等)についても検討していく。

都市再生整備計画 事後評価シート (添付書類)

(1) 成果の評価

- 添付様式1-① 都市再生整備計画に記載した目標の変更の有無
- 添付様式1-② 都市再生整備計画に記載した事業の実施状況(完成状況)
- 添付様式2-① 都市再生整備計画に記載した数値目標の達成状況
- 添付様式2-② その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)により計測される効果発現の計測
- 添付様式2-参考記述 定量的に表現できない定性的な効果発現状況

(2) 実施過程の評価

- 添付様式3-① モニタリングの実施状況
- 添付様式3-② 住民参加プロセスの実施状況
- 添付様式3-③ 持続的なまちづくり体制の構築状況

(3) 効果発現要因の整理

- 添付様式4-① 効果発現要因の整理にかかる検討体制
- 添付様式4-② 数値目標を達成した指標にかかる効果発現要因の整理
- 添付様式4-③ 数値目標を達成できなかった指標にかかる効果発現要因の整理

(4) 今後のまちづくり方策の作成

- 添付様式5-① 今後のまちづくり方策にかかる検討体制
- 添付様式5-② まちの課題の変化
- 添付様式5-③ 今後のまちづくり方策
- 添付様式5-参考記述 今後のまちづくり方策に関するその他の意見
- 添付様式5-④ 目標を定量化する指標にかかるフォローアップ計画
- 添付様式6 当該地区のまちづくり経験の次期計画や他地区への活かし方
- 添付様式6-参考記述 今後、都市再生整備計画事業の活用予定、又は事後評価を予定している地区の名称(当該地区の次期計画も含む)

(5) 事後評価原案の公表

- 添付様式7 事後評価原案の公表

(6) 評価委員会の審議

- 添付様式8 評価委員会の審議

(7) 有識者からの意見聴取

- 添付様式9—有識者からの意見聴取

(1) 成果の評価

添付様式1-① 都市再生整備計画に記載した目標の変更の有無

	変更		変更前	変更後	変更理由
	あり	なし			
A. まちづくりの目標		●			
B. 目標を定量化する指標		●			
C. 目標値		●			
D. その他()		●			

添付様式1-② 都市再生整備計画に記載した事業の実施状況(事業の追加・削除を含む)

基幹事業									
事業	事業箇所名	当初計画		最終変更計画		当初計画からの 変更の概要 ※1 (事業の削除・追加を含む)	都市再生整備計画に記載した まちづくり目標、目標を定量化する指標、数値目標等への影響	事後評価時の完成状況	
		事業費	事業内容	事業費	事業内容			完成	完成見込み
道路	市道00-001号線	20.0	L=220m	30.5	L=330m	整備路線延長の変更に伴う事業費の増	指標4に影響するが、数値は据え置く。	●	
	市道00-003号線	20.0	L=160m	20.0	L=220m	整備路線を延長したが事業費に変更なし	指標4に影響するが、数値は据え置く。	●	
	市道00-004号線	30.0	L=270m	30.0	L=270m	変更なし	影響なし	●	
	市道00-102号線	30.0	L=285m	19.5	L=274m	整備路線延長の変更に伴う事業費の減	指標4に影響するが、数値は据え置く。	●	
公園									
河川									
下水道									
駐車場有効利用システム									
地域生活基盤施設	地域防災施設(防災備蓄庫)	3.0	食料、生活必需品、防災資器材の備蓄	1.9	食料、生活必需品、防災資器材の備蓄	備蓄内容の変更に伴う事業費の減	影響なし	●	
高質空間形成施設									
高次都市施設	地域交流センター整備	409.0	白井コミュニティセンター整備	298.2	白井コミュニティセンター整備	整備面積の減に伴う事業費の減	指標1、2、3に影響するが、数値は据え置く。	●	
既存建造物活用事業									
都市再生交通拠点整備事業									
土地区画整理事業(都市再生)									
住宅市街地総合整備事業									

※1:事業費の大幅変更、新規追加がある場合は理由を明記のこと

添付様式1-② 都市再生整備計画に記載した事業の実施状況(事業の追加・削除を含む)

基幹事業									
事業	事業箇所名	当初計画		最終変更計画		当初計画からの 変更の概要 ※1 (事業の削除・追加を含む)	都市再生整備計画に記載した まちづくり目標、目標を定量化する指標、数値目標等への影響	事後評価時の完成状況	
		事業費	事業内容	事業費	事業内容			完成	完成見込み
地区再開発事業									
バリアフリー環境整備事業									
優良建築物等整備事業									
住宅市街地総合整備事業									
街なみ環境整備事業									
住宅地区改良事業等									
都心共同住宅供給事業									
公営住宅等整備									
都市再生住宅等整備									
防災街区整備事業									

※1: 事業費の大幅変更、新規追加がある場合は理由を明記のこと

添付様式2-① 都市再生整備計画に記載した数値目標の達成状況

指標	単位	データの計測手法と評価値の求め方 (時期、場所、実施主体、対象、具体手法等)	(参考)※1 計画以前の値 (ア)		従前値 (イ)		目標値 (ウ)		数値(エ)			目標達成度※2		1年以内の達成見込みの有無	
			基準年度		基準年度		目標年度						あり	なし	
指標1	公共施設に対する市民満足度	%	事後評価アンケートを行い、「便利な公共施設が整備されている」と感じる市民の割合を評価値とする。	-	-	8.7%	H19	15.0%	H26	モニタリング	-	モニタリング	-	-	-
										事後評価	確定見込み	計測不能	事後評価	-	-
指標2	施設利用促進を図るための講座数	講座	「平成26年度白井市公民館等講座・学習のまとめ」に整理されている講座数を合計する。ただし、コミュニティー形成に資さない講座は除く。	-	-	26講座	H20	31講座	H26	モニタリング	-	モニタリング	-	-	-
										事後評価	確定見込み	108講座	事後評価	○	-
指標3	利用登録(社会教育認定団体)団体数	団体	「平成26年度白井市社会教育関係団体認定申請一覧表」に記載のある団体数を合計する。ただし、活動回数が不定期または不明を除く。	-	-	119団体	H20	130団体	H26	モニタリング	-	モニタリング	-	-	●
										事後評価	確定見込み	114団体	事後評価	×	-
指標4	舗装修繕要望件数	件	「平成26年度苦情受付簿」をもとに、道路補修に関する苦情件数を抽出し合計する。	-	-	65件	H20	55件	H26	モニタリング	-	モニタリング	-	-	●
										事後評価	確定見込み	60件	事後評価	×	-

指標	目標達成度○△×の理由 (達成見込み「あり」とした場合、その理由も含む)	その他特記事項 (指標計測上の問題点、課題等)
指標1	公共施設の利便性に関する満足度をはかるものであり、事業効果及び地域のコミュニティーを形成するという目標の達成状況を適切に説明できる指標ではないため、別途、「その他の数値指標1：白井コミュニティセンターの利用者数」を設定し、目標の達成状況を計測することとした。	
指標2	コミュニティー形成を目的とした講座数は増加しており、目標達成度を○とした。	
指標3	利用団体登録数は平成23年度(144団体)をピークに減少し、評価値は従前値である平成20年度(119団体)を下回ったことから、目標達成度は×とした。	事業期間中、登録認定の審査が厳密化したこともあり、認定団体数が減少したことも未達成の要因である。
指標4	舗装修繕要望件数は減少したが、目標値は達成しなかったことから、目標達成度は×とした。	

※1 計画以前の値とは、都市再生整備計画の作成より以前(概ね10年程度前)の値のことをいう。

※2 目標達成度の記入方法

○：評価値が目標値を上回った場合

△：評価値が目標値には達していないものの、近年の傾向よりは改善していると認められる場合

×：評価値が目標値に達しておらず、かつ近年の傾向よりも改善がみられない場合

添付様式2-② その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現の計測

指標	単位	データの計測手法と評価値の求め方(時期、場所、実施主体、対象、具体手法等)	(参考)※1 計画以前の値(ア)		従前値(イ)		数値(ウ)			本指標を取り上げる理由	その他特記事項(指標計測上の問題点、課題等)
			基準年度		基準年度		モニタリング	事後評価			
その他の数値指標1	白井コミュニティセンター利用者数	人/年	-	-	8,856人/年	H20	モニタリング		-	白井コミュニティセンターは、新たな機能の追加や多彩なイベントの実施等により利用者が増加しており、地域のコミュニティ形成に大きく寄与していることから、本指標を設定し事業効果を説明する。	
							事後評価	確定 ●	見込み		
その他の数値指標2	白井児童館の利用者数	人/年	-	-	5,397人/年	H21	モニタリング		-	白井児童館は、改修により安全・安心な子どもたちの遊びの場として利用者が増加している。また、子ども同士の遊びや学び、母親同士の憩いの場としても機能しており、地域のコミュニティ形成にも大きく寄与していることから、本指標を設定し事業効果を説明する。	
							事後評価	確定 ●	見込み		
その他の数値指標3	道路利用の安全・安心に対する満足度	%	-	-	-	-	モニタリング		-	道路の改修や防犯灯の整備により、安全で利用しやすい道路環境の整備が進んでいることから、アンケートにより住民の事業に対する評価を収集・定量化し事業効果を説明する。	
							事後評価	確定 ●	見込み		
その他の数値指標4	地域の防災対策に対する満足度	%	-	-	-	-	モニタリング		-	避難場所である白井コミュニティセンターや白井中学校体育館の耐震改修、防災備蓄庫の整備などにより、地域の防災対策が進められていることから、アンケートにより住民の事業に対する評価を収集・定量化し事業効果を説明する。	
							事後評価	確定 ●	見込み		

※1 計画以前の値とは、都市再生整備計画の作成より以前(概ね10年程度前)の値のことをいう。

添付様式2-参考記述 定量的に表現できない定性的な効果発現状況

○事後評価アンケートの自由記述欄に以下の意見があり、事業に対する定性的な効果が発現している。

- ・私は時々孫を預かるのですが、児童館に行くのが楽しみのようです。又、若いお母さんとお話ができたり、自宅が近かったりしてコミュニケーションがとれ私も孫も友達ができて良かったです。
- ・白井児童館は、指導員の方々もみなさんとてもいいと思います。娘が印西在住で、白井の実家に来て遊びに行かせてもらうこともあり、感謝です。
- ・月2回ほど利用させてもらっていますが、とてもきれいで子供も楽しく遊んでいます。
- ・いつも小学生の娘が児童館を利用させてもらっています。イベントも楽しく参加していますし、親としても安心して遊ばせることができ助かっています。
- ・少しずつ充実していることが分かりました。「知る」ということを「知らせる」ということの大切さを感じました。

○まちづくり審議会で、以下の意見が上がっている。

- ・保育園の職員を集めた研修などで白井コミュニティセンターを利用している。また、センター長が企画した音楽好きの人を集めたイベントをきっかけにバンドが結成され、練習場所として使っている。そのおかげで、白井コミュニティセンターのお祭りや、敬老会や市内のイベントにも出させてもらえるようになり、大変使い勝手がよい。
- ・今回の白井コミュニティセンターの整備は、住民参加により施設整備に最初から関わったからこそ、要望等が通り、意見が受け入れられて自分たちが利用しやすい施設ができた。そしてその人たちが指定管理者を立ち上げて自分たちで施設を管理しているからこそ、面白い講座が開けたり、いろんなところとコラボしてイベントを開くなど積極的に活動されているところが特徴であると思う。造るところから運営・管理まで市民参加でやっているというのは評価できる。
- ・白井児童館の利用者が増えているのは、施設を改装しただけでなく、指定管理者が利用方法や講座等の充実などソフト面で工夫していることも大きな要因であり、子供が減少する中で十分成功していると思う。

(2) 実施過程の評価

・本様式は、都市再生整備計画への記載の有無に関わらず、実施した事実がある場合には必ず記載すること。

添付様式3-① モニタリングの実施状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	実施状況	実施頻度・実施時期・実施結果	今後の対応方針等
都市計画課による進捗管理	予定どおり実施した	<ul style="list-style-type: none"> ● ■時期 平成22年度～平成26年度(事業期間内) ■頻度 月1～2回 ■概要 都市計画課が定期的に事業の進捗状況を取りまとめ、事業が計画通り進んでいるか、事業上の課題等に対する取り組みを行っているか等を確認した。 	定期的に庁内で事業の進捗状況を確認しあうことで、地区の問題等を共有し、計画的な事業推進を図る。
	予定はなかったが実施した		
	予定したが実施できなかった (理由)		

添付様式3-② 住民参加プロセスの実施状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	実施状況	実施頻度・実施時期・実施結果	今後の対応方針等
建設準備委員会による「コミュニティ施設建設整備に係る提案」に基づき、白井コミュニティセンターを整備した。 開館後は、利用者の意見を取り入れながら運営を行っている。	予定どおり実施した	<ul style="list-style-type: none"> ● ■経緯 平成13年度、地域住民や利用者などをメンバーとした住民検討会を設置 ・平成17年1月、建設準備委員会を設置、整備に向けて検討開始 ・平成19年11月、建設準備委員会が「コミュニティ施設建設整備に係る提案」を提出 ・平成22年、白井コミュニティセンター整備に着手 ・平成23年6月、白井コミュニティセンター開館 ■概要 白井コミュニティセンターは、建設準備委員会により提出された提案の内容を反映し整備を行った。 開館後は、利用者の要望や意見を取り入れながら、講座の充実や施設配置、修繕等を行っている。 	今後も地域や市民の意見を取り入れた公営施設の整備・改修を行っていくとともに、その運営についても、利用者に意見を伺いながら利用しやすい環境づくりを進める。
	予定はなかったが実施した		
	予定したが実施できなかった (理由)		
道路事業は、住民要望を勘案し、修繕計画に反映させながら事業を実施した。	予定どおり実施した	<ul style="list-style-type: none"> ● ■時期 平成22年度～平成26年度(事業期間内) ■概要 住民からあげられた道路舗装修繕の苦情や要望を勘案し、修繕計画における舗装修繕の優先順位や整備内容に反映させた。 	引き続き住民要望を反映した道路管理を行い、地域間交通の安全を確保する。
	予定はなかったが実施した		
	予定したが実施できなかった (理由)		

添付様式3-③ 持続的なまちづくり体制の構築状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	構築状況	実施頻度・実施時期・実施結果		今後の対応方針等
		i. 体制構築に向けた取組内容	ii. まちづくり組織名:組織の概要	
なし	予定どおり実施した			
	予定はなかったが実施した			
	予定したが実施できなかった (理由)			

(3) 効果発現要因の整理

添付様式4-① 効果発現要因の整理にかかる検討体制

名称等	検討メンバー	実施時期	担当部署
庁内検討会	市民活動支援課、市民安全課、子育て支援課、道路課 (教育総務課)	平成27年10月9日(金)	都市計画課

添付様式4-② 数値目標を達成した指標にかかる効果発現要因の整理

種別	事業名・箇所名	指標2		その他指標1		その他指標2		その他指標3		その他指標4	
		指標改善への貢献度	総合所見	指標改善への貢献度	総合所見	指標改善への貢献度	総合所見	指標改善への貢献度	総合所見	指標改善への貢献度	総合所見
基幹事業	【道路】市道00-001号線	-	・白井コミュニティセンターでは、以前はなかった施設や機能が	-	・利用者の意見を取り入れ、施設各所に無料で利用できるフリースペースを設けたことで、利用勝手がよい施設となった。それにより、団体だけでなく個人のちょっとした打ち合わせや集まり等にも利用されるなど、地域の住民が気軽に交流する場ができ、地域コミュニティの形成に寄与している。	-	・白井児童館は、耐震化し館内を明るく開放感のある施設に改築した。また、授乳室や低い手洗いなど利用者の意見を反映した結果、子供が安心・安全に遊べる場所が創出された。	◎	・市道00-001号線など工業団地周辺道路では、破損が著しかった道路舗装を修繕したほか、カラー舗装や学童注意の路面標示の引き直しを行い、自動車・歩行者双方に注意を促したことで、道路利用の快適性・安全性が向上し、住民の満足度が向上した。	○	・白井コミュニティセンターは耐震設計とし、中央公民館にはなかった防災備蓄庫を整備したことで、災害拠点として地域の防災機能が強化され災害に強いまちづくりが進んだことで、災害対策に対する住民の評価が高まった。
	【道路】市道00-003号線	-	幅が広がり講座数が増加している。また、整備を機に趣味的な講座やイベントのほかにも地域の生き物観察や、街コンなど変わったイベントを企画し好評を博しており、地域や世代間の交流促進に寄与している。	-	・住民が設計段階から携わり、そして指定管理者となって運営していることで、より住民のニーズに応えられる施設となり、利用者が	-	・改築に合わせて、利用規定を柔軟にしたり、講座やイベントを積極的に行うなどソフト面でも充実化を図った結果、利用者が増えた。これらをきっかけに新たなコミュニティが生まれ、白井コミュニティセンターが活用されるなどの相乗効果も上がっている。	◎	・避難所に向かう経路に防犯灯を増設したことにより、夜間の通行の安全性が高まり、住民からも評価を得ている。	○	・白井中学校体育館の耐震改修や、耐震性能が不足している施設の改修事業に対して支援を行ったことにより、防災性が向上し、住民が安心して利用できるようになった。
	【道路】市道00-004号線	-		-		-		◎		○	
	【道路】市道00-102号線	-		-		-		◎		○	
	【地域生活基盤施設】地域防災施設(備蓄倉庫整備)	-		-		-		-		◎	
	【高次都市施設】地域交流センター整備	◎		◎		○		○		-	◎
提案事業	【地域創造支援事業】児童館改築	◎		○		◎		-		◎	
	【地域創造支援事業】防犯灯設置事業	-		-		-		◎		○	
	【地域創造支援事業】中央公民館等解体撤去	-		-		-		-		○	
関連事業	【まちづくり活動推進事業】市民活動推進事業	◎		◎		○		-		-	
	白井中学校体育館耐震改修事業	-		-		-		-		◎	
	耐震改修事業補助金	-		-		-		-		◎	

※指標改善への貢献度

- ◎：事業が効果を発揮し、指標の改善に直接的に貢献した。
- ：事業が効果を発揮し、指標の改善に間接的に貢献した。
- △：事業が効果を発揮することを期待したが、指標の改善に貢献しなかった。
- ：事業と指標の間には、もともと関係がないことが明確なので、評価できない。

今後の活用	今後も市民の趣味・生きがいがいづくりのきっかけとなる講座・イベント等の実施を支援する。	より利用者数の増加や満足度の向上を図るため、利用規定の柔軟な適用や施設の周知活動等を行っていく。	子どもが安心して利用できる施設とするため、施設の維持管理を徹底する。	引き続き、安全・安心に通ることができる道路の整備や維持管理に努める。	地域の防災力のさらなる向上のための方策を検討する。
-------	---	--	------------------------------------	------------------------------------	---------------------------

添付様式4-③ 数値目標を達成できなかった指標にかかる効果発現要因の整理

指標の種別		指標1			指標3			指標4		
指標名		公共施設に対する市民満足度			利用登録(社会教育認定団体)団体数			舗装修繕要望件数		
種別	事業名・箇所名	目標未達成への影響度	総合所見	要因の分類	目標未達成への影響度	総合所見	要因の分類	目標未達成への影響度	総合所見	要因の分類
基幹事業	【道路】市道00-001号線	-	・従前アンケートの設問が、「市内すべての公共施設の利便性の満足度」をはかるものであり、目標の達成状況を適切に説明する指標ではないため、計測不能とした。	-	-	・事業開始以降、登録審査が厳密化したこともあり、目標値を達成しなかった。	III	△	・舗装修繕要望件数は減少したが、目標値は達成しなかった。	IV
	【道路】市道00-003号線	-			-			△		
	【道路】市道00-004号線	-			-			△		
	【道路】市道00-102号線	-			-			△		
	【地域生活基盤施設】地域防災施設(備蓄倉庫整備)	△			-			-		
	【高次都市施設】地域交流センター整備	△			△			-		
提案事業	【地域創造支援事業】児童館改築	△	△	△	・しかしながら、市内でも珍しい陶芸窯を活用した陶芸教室や、着付けやカメラなどの講座の参加をきっかけにサークルが形成され、独自に活動が始まるなど、地域住民のコミュニティの形成や趣味・生きがいがいづくりに寄与している。	-	-	-		
	【地域創造支援事業】防犯灯設置事業	-	-	-		-				
	【地域創造支援事業】中央公民館等解体撤去	-	-	-		-				
	【まちづくり活動推進事業】市民活動推進事業	△	△	-		-				
関連事業	白井中学校体育館耐震改修事業	-	-	-	-	-	-	-		
	耐震改修事業補助金	-	-	-	-	-	-	-		

※目標未達成への影響度

- ××: 事業が効果を発揮せず、指標の目標未達成の直接的な原因となった。
- ×: 事業が効果を発揮せず、指標の目標未達成の間接的な原因となった。
- △: 数値目標が達成できなかった中でも、ある程度の効果をあげたと思われる。
- : 事業と指標の間には、もともと関係がないことが明確なので、評価できない。

※要因の分類

- 分類Ⅰ: 内的な要因で、予見が可能な要因。
- 分類Ⅱ: 外的な要因で、予見が可能な要因。
- 分類Ⅲ: 外的な要因で、予見が不可能な要因。
- 分類Ⅳ: 内的な要因で、予見が不可能な要因。

改善の 方針 (記入は 必須)	-	イベント等の実施や市民活動の立ち上げ支援を行い、市民同士や地域のコミュニティの形成を支援していく。	引き続き、住民要望の強い道路の舗装修繕等を進め、利用しやすい道路としての維持管理に務める。
--------------------------	---	---	---

(4) 今後のまちづくり方策の作成

添付様式5-① 今後のまちづくり方策にかかる検討体制

名称等	検討メンバー	実施時期	担当部署
庁内検討会	市民活動支援課、市民安全課、子育て支援課、道路課 (教育総務課)	平成27年10月9日(金)	都市計画課

添付様式5-② まちの課題の変化

事業前の課題 都市再生整備計画に記載 したまちの課題	達成されたこと(課題の改善状況)	残された未解決の課題	事業によって発生した 新たな課題
地域コミュニティ活動の活性化を促進するための拠点が ない。	・中央公民館を解体し、新たに住民意見を取り入れた白井コミュニティセンターを整備した結果、地域活動の活性化が図られ、コミュニティの形成が促進された。	-	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者が増えたことで、白井コミュニティセンターの駐車場不足が課題となっている。 ・住民要望の強い路線や箇所の舗装修繕等を進めたが、それ以外の路線・箇所でも歩道がない、道路が狭く暗い、草刈りをしてほしいなどの意見や要望が寄せられている。
地域間交通及び避難場所への経路について、通行の円滑化や安全性の確保を図る。	・破損の著しい道路の舗装修繕を行い、円滑に通行できるようにしたほか、カラー舗装や路面標示の引き直しにより安全に配慮した通行を喚起し安全性を高めた。 ・防犯灯の増設により、夜間の通行の安全性が向上した。	<ul style="list-style-type: none"> ・舗装修繕や草刈り等、道路管理に対する要望件数は増えていることから、引き続き対策が必要となっている。 ・対象路線以外にも夜間の通行に不安な道路がある。 	
避難場所となるコミュニティ施設の防災機能の向上が求められている。	・避難場所である白井コミュニティセンターや白井中体育館等を耐震施設としたほか、白井コミュニティセンターに防災備蓄庫を整備し地域の防災力が向上した。	<ul style="list-style-type: none"> ・トイレ用水の確保など、より災害時に適応した防災機能の充実が必要である。 	
子どもが安心して遊べる場を充実させる。	・老朽化した白井児童館を改築し、耐震化や子供用の低い手洗いや高低差のないフロアなどを整備したことで、子供が安心して遊べるようになった。	<ul style="list-style-type: none"> ・通学路や白井児童館まで行くための道路に交通量が多く暗い箇所があるなど、子供が安全に通行できない。 	

これを受けて、成果の持続にかかる今後のまちづくり方策を添付様式5-③A欄に記入します。

これを受けて、改善策にかかる今後のまちづくり方策を添付様式5-③B欄に記入します。

添付様式5-③ 今後のまちづくり方策

A欄 効果を持続させるため に行う方策	効果の持続を図る事項	効果を持続させるための基本的な考え方	想定される事業
	地域コミュニティの醸成	・施設の新規利用者やリピーターの増加を図る。 ・指定管理者と連携し、コミュニティ施設等の適切な修繕や維持管理を行う。	・施設や講座のプロモーション活動、公開講座等の充実 ・地域活動団体の立ち上げや活動の支援 ・駐車場不足への対応方策の検討
	安全、快適な道路環境の維持	・道路の適切な維持管理に務める。	・舗装修繕、草刈り等の道路管理事業 ・防犯灯整備
	地域の防災力のさらなる向上	・災害時に迅速・的確な行動がとれるよう、日常生活から意識を持って備える。 ・不足している防災機能の充実を図る。	・避難訓練等の実施 ・防災教育や防災・減災に係る啓蒙活動の推進 ・防災放送施設(防災無線)の整備改善 ・災害時のトイレ対策等の検討

B欄 改善策	改善する事項	改善策の基本的な考え方	想定される事業
	安全、快適な道路環境の創出	・歩道のない道路や狭隘道路などの解消を図る。 ・子どもが安全に通行できる通学路の整備を行う。	・道路の拡幅整備、歩道整備 ・防犯灯整備 ・舗装修繕、草刈り等の道路管理事業
	・未達成の目標を達成するための改善策		
	・未解決の課題を解消するための改善策 ・新たに発生した課題に対する改善策		

フォローアップ又は次期計画等
において実施する改善策
を記入します。

なるべく具体的に記入して下さい。

■様式5-③の記入にあたっては、下記の事項を再確認して、これらの検討結果を踏まえて記載して下さい。(チェック欄)

●	交付金を活用するきっかけとなったまちづくりの課題(都市再生整備計画)を再確認した。
●	事業の実施過程の評価(添付様式3)を再確認した。
●	数値目標を達成した指標にかかる効果の持続・活用(添付様式4-②)を再確認した。
●	数値目標を達成できなかった指標にかかる改善の方針(添付様式4-③)を再確認した。
●	残された課題や新たな課題(添付様式5-②)を再確認した。

添付様式5-参考記述 今後のまちづくり方策に関するその他の意見

- ・計画・事業について市民に説明して理解してもらう必要性を感じた。
- ・今回のように、千葉ニュータウン区域外のまちづくりにも着目し、地区のいいところをさらに魅力づけたり情報発信していくことで、市全体の魅力アップにつながると良い。

添付様式5-④ 目標を定量化する指標にかかるフォローアップ計画

・フォローアップの要否に関わらず、添付様式2-①、2-②に記載した全ての指標について記入して下さい。
 ・従前値、目標値、評価値、達成度、1年以内の達成見込みは添付様式2-①、2-②から転記して下さい。

・評価値が「見込み」の全ての指標、目標達成度が△又は×の指標、1年以内の達成見込み「あり」の指標について、確定値を求めるためのフォローアップ計画を記入して下さい。

指標		単位	従前値		目標値		評価値		目標達成度	1年以内の達成見込みの有無	フォローアップ計画		
			年度	年度	年度	年度					予定時期	計測方法	その他特記事項
指標1	公共施設に対する市民満足度	%	8.7	H19	15.0	H26	確定	計測不能	-	あり	-	-	-
							見込み			なし			
指標2	施設利用促進を図るための講座数	講座	26	H20	31	H26	確定 ●	108	○	あり	-	-	-
							見込み			なし			
指標3	利用登録(社会教育認定団体)団体数	団体	119	H20	130	H26	確定 ●	114	×	あり	-	-	-
							見込み			なし ●			
指標4	舗装修繕要望件数	件	65	H20	55	H26	確定 ●	60	×	あり	-	-	-
							見込み			なし ●			

その他の数値指標1	白井コミュニティセンター利用者数	人/年	8,856	H20	/	/	確定 ●	36,006	/	/	-	-	-
							見込み						
その他の数値指標2	白井児童館の利用者数	人/年	5,397	H21	/	/	確定 ●	12,010	/	/	-	-	-
							見込み						
その他の数値指標3	道路利用の安全・安心に対する満足度	%	-	-	/	/	確定 ●	58.5	/	/	-	-	-
							見込み						
その他の数値指標4	地域の防災対策に対する満足度	%	-	-	/	/	確定 ●	74.7	/	/	-	-	-
							見込み						

添付様式6 当該地区のまちづくり経験の次期計画や他地区への活かし方

・下表の点について、特筆すべき事項を記入します。

項目		要因分析	次期計画や他地区への活かし方
数値目標 ・成果の達成	うまくいった点		・目標値の設定に当たっては、想定される事業効果と事業前の傾向を把握した上で、目標を設定する必要がある。
	うまくいかなかった点	・指標4などの住民意見や要望を指標とする場合、事業効果や過去の傾向を考慮した目標設定が難しい。	
数値目標と 目標・事業との 整合性等	うまくいった点		・指標の定義やバックデータなどの適切な管理に務め、今後の地域のまちづくりにフィードバックしていく。
	うまくいかなかった点	・指標1は従前値の設定が目標や事業と合致しておらず、その他の数値指標による補完が必要となった。 ・防犯灯整備や防災備蓄庫の整備などに対応する指標が設定されていなかった。事業に対し直接事業効果を計測する指標を設定しておくことで、より事業効果が説明しやすくなる。 ・指標3は事業期間内で審査基準が厳しくなり、事業前後の事業効果がはかりにくい指標となった。指標設定には、事業期間の中で定義や考え方が変わることがない指標、定期的に計測している指標等を設定することが望ましい。	
住民参加 ・情報公開	うまくいった点	・アンケートにより、白井コミュニティセンターや白井児童館が認知されたほか、その他の事業効果についても広く周知することができた。	・白井コミュニティセンターなどの文化・福祉施設は、市民の積極的な利用を促進するため、今後も引き続き周知活動を行っていく。 ・事業についても、その概要や意義を住民に広く説明することで、住民の理解を促進していく。
	うまくいかなかった点		
PDCAによる事業 ・評価の進め方	うまくいった点		
	うまくいかなかった点		
その他	うまくいった点		
	うまくいかなかった点		

添付様式6－参考記述 今後、都市再生整備計画事業の活用予定、又は事後評価を予定している地区の名称(当該地区の次期計画も含む)

なし

(5) 事後評価原案の公表

添付様式7 事後評価原案の公表

公表方法	具体的方法	公表期間・公表日	意見受付期間	意見の受付方法	担当部署
インターネット	市のホームページに掲載	平成27年11月16日(月) ～11月30日(月)	平成27年11月16日(月) ～11月30日(月)	担当課で以下の方法で 受け付ける。 ・窓口受付 ・郵送 ・FAX ・メール	都市計画課
広報掲載・回覧・個別配布	広報に市のホームページ及び 担当課窓口で原案を公表して いる旨を掲載	平成27年11月15日号 広報しろい	-		
説明会・ワークショップ	-	-	-		
その他	担当課での窓口閲覧	平成27年11月16日(月) ～11月30日(月)	平成27年11月16日(月) ～11月30日(月)		

住民の意見	住民意見はなかった。
-------	------------

(6) 評価委員会の審議

添付様式8 評価委員会の審議

委員構成		実施時期	担当部署	委員会の設置根拠	委員会の母体組織
学識経験のある委員	野口 和雄 竹本 清一	平成27年12月10日(木)	都市計画課	白井市まちづくり条例第45条	白井市まちづくり審議会
その他の委員	市民公募(桑原 玉樹、福岡 正勝、渡邊 忠明) 市民団体代表(竹内 正一、中谷 信久、清水 達人) 市職員(伊藤 道行)				

審議事項※1		委員会の意見
事後評価手続き等にかかる審議	方法書	・方法書に従い、事後評価が適切に行われたことを確認した。
	成果の評価	・今後、同様のまちづくり計画を策定する際は、事後評価時を考慮して数値指標には目標の達成状況や事業効果が把握しやすいものを設定しておく必要がある。
	実施過程の評価	・施設を造って終わりではなく、施設利用について定期的にアンケートを実施するなど、少しずつ利用勝手を整えていくことが重要である。
	効果発現要因の整理	・効果発現要因の整理は、妥当に行われたことと認められた。
	事後評価原案の公表の妥当性	・住民公表は妥当に行われたと認められた。
	その他	-
	事後評価の手続きは妥当に進められたか、委員会の確認	・事後評価の手続きは妥当であると認められた。
今後のまちづくりについて審議	今後のまちづくり方策の作成	<p>今後のまちづくり方策について、以下の意見があった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・千葉ニュータウン区域内外の市民同士の交流を強化することでコミュニティを醸成し、市全体の魅力アップを図っていく。 ・今後も引き続き地域や市民の意見を取り入れた公営施設の整備・改修を行っていくとともに、その運営についても市民の意見を取り入れ利用しやすい環境づくりを進めていく必要がある。また、ライフサイクルコスト的な視点を入れることも重要である。 ・白井コミュニティセンターについては、適切な維持管理を行うとともに、防災機能の向上や駐車場の充実を図る。
	フォローアップ	-
	その他	・小さなコミュニティ単位の中で、市民目線でまちづくりをどうしていくのか、それによって市全体がよくなるという視点で、この事後評価の経験を引き継いでいくと良いと思う。
	今後のまちづくり方策は妥当か、委員会の確認	・今後のまちづくり方策は妥当であると認められた。
その他	-	

※1 審議事項の詳細は「まちづくり交付金評価委員会チェックシート」を参考にしてください。